

平成 29 年 3 月 31 日
 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
 公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしま
 株式会社 広島銀行
 株式会社日本政策金融公庫

「ソーシャルビジネス支援ネットワークひろしま」主催
「平成 28 年度ソーシャルビジネスプランコンテスト」
受賞者が決定！！

「ソーシャルビジネス支援ネットワークひろしま」(*)が主催した「ソーシャルビジネスプランコンテスト」の受賞者が決定しましたのでご報告いたします。

(*)「ソーシャルビジネス支援ネットワークひろしま」はソーシャルビジネス事業者からの様々な相談についてワンストップサービスを提供するため、ひろしまNPOセンター、コミュニティ未来創造基金ひろしま、広島銀行、日本政策金融公庫で構成されたネットワークです。(平成 27 年 6 月 16 日に設立)

本コンテストは、地域の身近な課題、環境問題など社会的な課題を解決し得る**新しいビジネスプランを募集**し、その実現を支援することにより、起業家の育成、新しいビジネスの誕生と成長をサポートする目的で開催いたしました。

多数の応募の中から「ソーシャルビジネス支援ネットワークひろしま」及び有識者等で構成する協議会で審査の結果、4団体の受賞が決定いたしました。

大賞及び優秀賞受賞団体は平成 29 年 3 月 17 日(金)に表彰されました。

<受賞者の特典>

- ・ **事業化に向けてのサポート (希望者のみ)**
- ・ **受賞プランを幅広く周知 (ご本人から情報展開に関する同意がある場合)**
 → 「ひろしま NPO センターホームページ掲載」、「報道機関等へ情報提供」など

【受賞団体】 詳細は別紙をご覧ください。

	団体名	プランタイトル
大賞	広島ゲストハウス 縁 (株式会社 恩) 代表取締役 正垣 紅	『 広島県まるごと宿 』 ～旅行業一体化ゲストハウスで日本の田舎と世界を繋ぐ新モデルの創出～
優秀賞	キッズウィル 代表 渡辺 千恵	発達障害やグレーゾーンの子どもに、100均商品で学習ワークを手作り (小2までの力があれば、社会に出られる)
優秀賞	特定非営利活動法人 シンクバンク研究所 代表理事 山田 康輔	企業内におけるメンタル不調者や退職者の職場復帰・再就職支援事業
審査員特別賞	itobanashi 伊達 文香	途上国の女性と先進国の女性を繋ぐブランド「itobanashi」 ～あなたの可愛い！が、あの子の嬉しい！に～

<ニュースリリースに関するお問い合わせ先 (平日 9:00~17:00) >

日本政策金融公庫 中国広域営業推進室 (担当：白土)

〒730-0031 広島県広島市中区紙屋町 1-2-22 広島トランヴェールビルディング

TEL: (082) 244-2241 FAX: (082) 249-9012

【受賞プランの概要】

大賞	団体名	広島ゲストハウス 縁 (株式会社 恩) 代表取締役 正垣 紅	プラン タイトル	『広島県まるごと宿』 ～旅行業一体化ゲストハウスで日本の田舎と世界を繋ぐ新モデルの創出～
	<p>『観光客が「来て良かった!」「また来たい」「住みたい」と思える広島にする』</p> <p>広島平和記念資料館が外国人の人気観光スポットになり、観光客数が6,600万人を超えた広島。しかしながら、広島は常に宿泊施設不足とPR不足により、観光客の9割は日帰りとなるため、十分な経済効果を生んでいない。また他のゲストハウス(GH)は旅行業免許を持っていないため、広島を周りたい宿泊客に対しツアーが実施できない(ニーズに合致したツアーもない)と考えた。</p> <p>●【ゲストハウス(GH)×旅行業×カフェ&バー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4カ国語(英、仏、伊、スペイン語)での対応が可能な従業員がおり、世界各国の旅行者に対応が可能。 ・代表の正垣は3年間かけた日本一周の旅やシェアハウス運営の経験を活かし、観光客にあわせたオーダーメイドツアーや、地元に着し、かつ様々な価値観を学べる体験型スタディツアーを企画。他のゲストハウス(GH)と連携した広島山・海・街のツアーを開催し、観光客に広島の魅力を体感してもらう。 ・1階のカフェ&バーは最大60名まで集客可能で、広島の特産物を提供する。 ・2階のゲストハウス(GH)は最大24名まで宿泊が可能。 <p>⇒観光客の広島での滞在日数を増やして広島の経済に貢献すると共に、ツアー先の中山間地域にも仕事を生み出し、ガイド料や宿泊費等の収入を増やし、経済が循環するきっかけをつくることで、広島全体としての地域活性化に取り組む。</p>			
優秀賞	団体名	キッズウィル 代表 渡辺 千恵	プラン タイトル	発達障害やグレーゾーンの子どもに、100均商品で学習ワークを手作り (小2までの力があれば、社会に出られる)
	<p>『発達障害やグレーゾーンのお子さまが、安心して学べる場所を提供』</p> <p>学校の勉強についていけない、宿題に時間がかかる、低学年でもテストで0点を取る、そういったお子さま。「療育手帳」を取得するほど重くはないけれど、明らかに学習につまずきを感じているお子さま、行政では救えない、数字には表れない、けれども学習についていけないお子さま。</p> <p>そのような子供達に合った学習の場を提供しながら、子育てに悩む家族が気軽に相談できる、情報交換できる場所を作る必要があると考えた。</p> <p>●一人ひとりの障害の状況に応じて、オリジナルの教材を作成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100円ショップで購入できるシールや付せんを使って、数の「多い」・「少ない」を教えたり、筆圧のいらぬペンで曲線の多いひらがなを練習できるように工夫している。 ・100円ショップの商品を利用することで教材費を抑えながらも、個々にあったカスタマイズが可能。 <p>●定期開催</p> <p>『小1☆ゆっくり学習クラス』『小2☆ゆっくり学習クラス』『小3☆ゆっくり学習クラス』『小2☆さきどり学習クラス』 1回90分…12,800円/月(月4回まで)(入会金・教材費込)(※平成29年4月より16,800円に価格改定)</p> <p>●単発開催</p> <p>『お母さんの手作り教材クラス』1回90分…3,000円(別途教材費…500円)</p>			

優秀賞	団体名	特定非営利活動法人 シンクバンク研究所 代表理事 山田 康輔	プラン タイトル	企業内におけるメンタル不調者や休職者の職場 復帰・再就職支援事業
	<p>『企業内のメンタル不調者・休職者と企業間では解決しにくい課題解決を行い、企業とともに障害者をつくらない社会を実現する』</p> <p>厚生労働省のデータにおいて、仕事上で強い不安・悩み・ストレスを感じる労働者は 52.3%いると言われており、企業全体の社員の約1%~2%が実際に休職者になると言われている。</p> <p>このような問題に対し、企業が資金を負担する事業ではなく、病院の医療制度、高齢者の介護制度と同じように国の障害福祉制度を活用した、企業に負担のない当事者の復職・再就職支援を行っていくもの。</p> <p>●国の障害者総合支援法が定める「自立訓練（生活訓練）」の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の医療制度、高齢者の介護制度と同じように国からの給付費（一人1日あたり約7,510円）を主な収入源とし、継続的な事業活動が可能。 ・復職に向けて、企業ごとに復職支援計画書（標準利用期間6ヶ月~12ヶ月）を作り、各企業・社員に合った支援を行う。また、医学博士・医師・産業医の高い専門性を有した当団体の代表理事が全てのプログラムを監修しており、復職支援プログラムを提供する。 ・企業内のメンタル不調者・休職者が、当事業所に通いながら、週5日フルタイムで働ける状態を作る中で、企業・当事者・主治医・シンクバンクそれぞれが共通認識を持った復職支援計画に基づき、専門的な支援をもって、当事者の職場復帰を行っていく。 			
審査員 特別賞	団体名	itobanashi 伊達 文香	プラン タイトル	途上国の女性と先進国の女性を繋ぐブランド「itobanashi」 ～あなたの可愛い！が、あの子の嬉しい！に～
	<p>『ファッションを通して途上国の女性の自立のサポート』</p> <p>インド人女性が作る刺繍は、精巧かつ迅速に作られており、日本の職人でも作成が難しいとされているにも関わらず、彼女たちの技術は日本ではあまり注目されていない。また、現地での適正な労働環境・雇用形態も保障されていないことに着目し、途上国の女性の手仕事を活かした上で、品質の良い服を提供するビジネスを考えた。</p> <p>●服作り ～お客様と育つブランド～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスタイルが豊富で縫製従事者の多いインドで、貧困層の女性を中心に雇用し、原料の綿花栽培から生地作り、仕立てから縫製までの一連のプロセスに関わり、セミオーダー式の服作りを行う。オーガニックやフェアトレード関連の事業を展開する飲食店や美容関係の事業者向けにユニフォーム販売を行う。 <p>●メディア ～お客様と生産者のコミュニティサイト～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服作りに関わる全ての人とお客様のコミュニケーションが可能となるサイト運営を行う。 ・本サイトを利用したい他企業にも提供し、広報活動を行う。 <p>●教育 服育（ふくいく）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服の原材料や従事者の情報、購入方法についてのワークショップなどの授業を行う。 ・服作り事業の紹介を盛り込む。 			